

2011年6月14日

産業革新機構、中小自動車部品加工メーカーの 共同グローバル展開の支援を決定

株式会社産業革新機構(以下「INCJ」)は、自動車部品加工の中小企業12社が共同して海外で事業展開を行う「衆智達自動車部品(常州)有限公司」(以下「衆智達」)が行う事業に対して、15億円の投資を行うことを決定しました。

世界の自動車市場は新興国を中心に成長し、それを支える世界の自動車部品市場も拡大が見込まれています。我が国ものづくり中小企業には、特に高度な技術が必要な工程で、世界の自動車部品メーカー向け市場を開拓する機会が広がっています。

衆智達は、中国を本拠地とし、自動車部品加工の中小企業12社が共同して事業展開を行うプラットフォーム企業です。国内では各社が「単工程を各々」で取り組む一方、衆智達は、海外において各社の強みを結集して「多工程をワンストップ」で行う新たなビジネスモデルに取り組んでいます。日系の自動車部品メーカーへの対応を継続・強化するとともに、欧米等の自動車部品メーカーを開拓することで顧客基盤の拡大を図る予定です。

INCJは、本投資を通じて、設備投資等に必要な資金を供給するとともに、外部経営人材の活用等により経営上のサポートを行います。これにより、中小企業が共同でグローバル展開を図る成功事例を創出するとともに、ピラミッド型の産業構造の転換に先鞭をつけることを目指します。

今般、株式会社産業革新機構(東京都千代田区丸の内、代表取締役社長 能見公一)は、自動車部品加工の中小企業12社が共同して海外で事業展開を行う「衆智達自動車部品(常州)有限公司」(江蘇省常州市、董事長 野口真司。以下「衆智達」)が行う事業に対して、15億円の投資を行うことを決定しました。

自動車市場は、新興国を中心に成長が見込まれています。(世界自動車生産台数は、2010年約7000万台から年平均約5%で成長し、2017年には約1億台となる見込み。)これに伴い、世界の自動車部品市場も拡大すると考えられています。

自動車部品産業は、日本で最も裾野の広い産業の一つです。近年、自動車部品の加工は、新興国・途上国を中心に国際的な生産分業が進められており、日本の自動車部品加工企業は、グローバル展開をしないと生き残れない状況です。高度な技術

が必要な工程（金属深絞りプレス、冷間鍛造、精密切削等）は、新興国・途上国の現地企業には対応できていないため、我が国ものづくり中小企業には、こうした工程において、世界の自動車部品メーカー向け市場を開拓する機会が広がっています。

衆智達は、中国を本拠地とし、自動車部品加工に係る我が国中小企業 12 社が、各社の異なる金属加工技術等を結集してグローバル展開する「プラットフォーム企業」です。

衆智達に出資する中小企業 12 社は、日本国内において、我が国自動車部品メーカー向けに、各社が強みを有する単一の工程に特化して、個別に製品を生産・納入しています。すなわち、各社のビジネスモデルは、「単工程を各々」で取り組むものです。これに対して衆智達は、海外において各社の異なる単工程技術を結集し、「多工程をワンストップ」で行う新たなビジネスモデルに取り組んでいます。

また、衆智達は、出資企業の技術支援を得て、中国において、日系の自動車部品メーカーへの対応を継続・強化するとともに、欧米等の自動車部品メーカーを開拓することで顧客基盤の拡大を図っています。

さらに、将来的には、中国のみならず、タイ・インド等の新興国市場に機動的に進出して多拠点展開を図り、グローバルで競争力のある自動車部品加工企業となることを目指しています。

INCJは、こうした事業展開を目指す衆智達に対して長期的な資金（15 億円）を供給します。これにより、出資企業が技術を保有しているにもかかわらず、これまで経営資源の不足により現地では対応できていなかった工程の設備を強化することが可能となり、参画する 12 社の技術力を最大限に発揮できるようになります。

また、INCJは、過半数を出資する株主として、外部からの経営トップの招聘、社外取締役の派遣、技術協力体制の再構築等により、経営上のサポートを実施します。

さらに、我が国中小自動車部品加工メーカーがグローバル展開するためのプラットフォーム企業として、現在出資している 12 社にとどまらず、競争力ある自動車部品加工メーカーの参画を促します。

INCJとしては、本投資により、中小企業が共同でグローバル展開を図る成功事例を創出したいと考えています。また、海外企業を中心に新たな顧客層を開拓することで、我が国のピラミッド型産業構造の転換に先鞭をつけるものになると考えています。

本件の概要については、「別添 1」のとおりです。

衆智達汽車部件（常州）有限公司について

- ・ 設 立 : 2008年4月
- ・ 所在地 : 江蘇省常州市新北区春江鎮玉龍北路688号
- ・ 代 表 : 董事長 野口真司
- ・ 出資企業 : 株式会社 浅野機械工業所、株式会社 加藤製作所、株式会社 亀山製作所、寿金属工業 株式会社、株式会社 サーテックカリヤ、柴田工業株式会社、三機商事 株式会社、株式会社 中部精機製作所、株式会社 野口製作所、株式会社 富士プレス、豊国工業 株式会社、株式会社 山田製作所
- ・ URL : <http://www.wisdoms-net.com/>

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額8000億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計13件・総額約570億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス・原子力発電等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（詳細は「別添2」参照）

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 中井、梶、檜山

東京都千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビル21・22階

電 話 : 03-5218-7200（大代表）

【案件の概要】

- 自動車部品加工の中小企業12社が、各社の異なる金属加工技術等を結集してグローバル展開する「プラットフォーム企業」に投資。

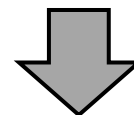
【案件の意義(投資インパクト)】

- 中小企業が共同でグローバル展開を図る成功事例を創出。
- 「単工程を各々」で対応する旧来のビジネスモデルではなく、高度な単工程技術の強みを結集して「多工程をワンストップ」で行う新たなビジネスモデルの確立を目指す。
- 日系の自動車部品メーカーへの対応を継続・強化するとともに、今後、欧米等の自動車部品メーカーを開拓することで顧客基盤を拡大し、ピラミッド型の産業構造の転換の先鞭をつける。

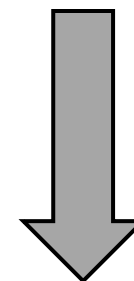
【INCJの役割】

- 長期的な資金(15億円)を供給。出資企業が技術を保有しているにもかかわらず、経営資源の不足により現地に対応できていなかった設備投資を行い、出資企業の潜在的な技術力を引き出す。
- 過半数を出資する株主として、外部からの経営トップの招聘、社外取締役の派遣、技術協力体制の再構築等により、経営上のサポートを実施。
- 現在出資している12社にとどまらず、競争力ある自動車加工メーカーの更なる参画を促し、日本の中小自動車部品加工メーカーのグローバル展開のためのプラットフォームを提供。

出資企業12社:



技術上のサポート
追加の投融資



投資(15億円)
経営上のサポート



しゅうちたつきしゃぶけん じょうしゅう ゆうげんこうし
衆智達汽車部件(常州)有限公司

- 自動車市場は、新興国市場を中心に拡大。これを支える世界の自動車部品加工市場も拡大の見込み。
 - 自動車部品産業は、日本で最も裾野が広い産業の一つ。
 - 日本の自動車部品加工企業は、グローバル展開をしないと生き残れない状況。
 - 高度な技術が必要な工程(金属深絞りプレス、冷間鍛造、精密切削等)は、新興国・途上国の現地企業には対応できず、日本の中小企業にとってビジネスチャンス。
- 出資企業12社からの技術支援を基に、中国において多工程をワンストップで行う新ビジネスモデルを目指す。
 - 将来的には多拠点展開を目指す。(タイ・インド等)

コモンレール
(切削、めっき)



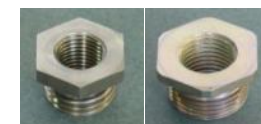
スティックコイル中心コア
(プレス)













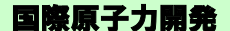








ホーン:ハウジング
(プレス、めっき)



ニップル
(切削、めっき)



投資セグメント 事業 ステージ	エレクトロニクス・IT (環境エネルギー関連など)	バイオ・ ライフサイエンス	インフラ系 (水・鉄道・原子力など)	その他
知財 ファンド	知財ファンド 複数のテーマ・領域ごとに知財ファンドを組成・支援することを検討中。	ライフサイエンス 知財ファンド「LSIP」 (バイオマーカー・ES/幹細胞・がん・アルツハイマー)		
ベンチャー 企業等	次世代エレクトロニクス技術ベンチャー  (フラッシュメモリ)	材料加工 工具  中村超硬 (ダイヤモンドソーワイヤー)	バイオベンチャー (創薬以外)	革新的航空サービス  (LCC)
	環境エネルギー技術ベンチャー  ゼファー株式会社 Zephyr Corporation (小型風力発電機)	バイオベンチャー(創薬)  Anaeropharma Science (抗がん剤DDS)	水ビジネスのグローバル展開 豪州水事業  三菱商事  TRILITY JIHO CORPORATION	ものづくり技術  索智達 (自動車部品加工)
事業の 再編・統合	環境エネルギー技術の切り出しベンチャー  アルプス・グリーンデバイス株式会社 (電源コア・電流センサ)	製薬メーカーの研究開発 パイプラインの切出し	チリ水事業   Agua Nuevas 丸紅株式会社	
	エレクトロニクス・IT、環境・エネルギー 関連のグローバル展開  日本インター株式会社 (パワーデバイス)		鉄道・原子力ビジネスの グローバル展開体制の構築   国際原子力開発 JINED	分析機器  JEOL RESONANCE (NMR)
	オープンイノベーション・プラットフォーム イノベーションデザインラボ KKフォーラム ローマの市場にて	外部ネット ワーキング  TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT  National Institute of Advanced Industrial Science and Technology AIST  KAUFFMAN FELLOWS PROGRAM AT THE CENTER FOR VENTURE EDUCATION  JST	事業化人材発掘・派遣 プログラムの構築	